

6月号

学校教育目標

ゆたかな子 たくましい子 かしこい子



東大成小だより

さいたま市立東大成小学校

令和4年 6月1日

ホームページ:<http://higashionari-e.saitama-city.ed.jp>

Te1 663-3210

Fax 663-9883

全力でがんばった運動会 ～PTAと保護者ボランティアの方々に支えられて～

校長 岡田 健彦

雲ひとつない青空の下で始まった運動会では、子どもたちの全力で取り組む姿と競技・演技後の歓喜に満ちた表情を見ることができ、感動を覚えました。練習期間中には雨天で練習ができない日もあり、限られた練習回数の中、教員も必死で演技を完成させようと児童の指導に熱が入り、だいぶ大きな声が校庭や体育館に響いていました。実は、子どもの時に運動が得意でなかった私は、運動会練習が苦痛でかつ当日の不安感に悩まされた経験があります。だからこそ、休み時間には、気になる子に声掛けをしていました。案の定「表現をみんなと合わせるのが苦手」「練習がきつい」などという声が返ってくる子がおり、励ましていました。当日、これらの子の様子にも目を配りながら見ていましたが、全員で一生懸命に演技している姿と終わった時の笑顔には、涙が出そうになりました。閉会式での白組の歓声と赤組の悔しがる姿は、全校児童が全力で取り組んできた証です。子どもたちには勝っても負けても頑張った価値に変わりはないことを伝えましたが、最後まであきらめずにやり抜く態度を育てることの大切さを実感しました。なお、蛇足ですが、演技後や終了後の職員打合せの際に教職員の目からも熱いものが込み上げていたのを目にし、教える側についても目的達成への高い熱意は本物であると認識いたしました。

さて、本校は、年度当初から、運動会を実施するにあたり、PTA本部役員の皆様と円滑な運営に向けて協議を重ねてきました。その結果、テントの貸し出し、ミストシャワーの設置、校庭への水撒きなどたくさんのご協力をいただくことができました。特に、今年度は、子どもたちの熱中症予防対策として20セット程度のテントの設置を計画しましたので、その設置と片付けに大きな課題が出ていました。快く保護者ボランティアを申し出ていただいた方々のおかげで、ほぼ予定どおりに運動会を実施することができました。紙面を借りてお礼申し上げます。コミュニティ・スクール2年目となり、このように学校とPTA保護者の皆様と連携しながら実施できたことが何よりです。まだコロナ禍ということもあり、地域の皆様にお声かけできなかったことは残念でしたが、今後、自治会をはじめ地域の方々にも本校の教育活動に参画いただきたいと考えております。引き続き、ご支援をお願いいたします。最後に、テントを貸していただきました植竹中学校、大砂土小学校、つばさ小学校の各校長先生方、PTA会長に感謝申し上げます。

ならぬものはならぬということ ～いじめ撲滅強化月間～

6月は「いじめ撲滅強化月間」と定めており、本校といたしましても、「いじめ対策委員会」、代表委員会が企画・運営する「みんながなかよく東大成小学校をよりよくするためのキャンペーン」・いじめ撲滅に向けた学級スローガンの作成・掲示、「子どもいじめ対策防止対策委員会」などの取り組みを行ってまいります。

江戸時代の藩校「日新館」には、入学する前の子どもたちが身につけるべき人としての心構えとして什(じゅう)の掟(おきて)がありました。この中にも、卑怯な振る舞いをしてはならないことや弱いものをいじめてはならないことが記されています。いじめは、卑怯なことであり、絶対に許されません。「ならぬものはならぬ」という強い信念と毅然とした態度が求められます。保護者や地域の皆様との共通理解が必要です。そして、児童会でもいじめが起きないようにするためのあたたかくやさしい「心遣いや」「思いやり」のある学校づくりについて子どもたちの視点から考えさせる指導を進めてまいります。いじめ防止にお力添えをいただきますようお願いいたします。